

横須賀市における海洋都市 推進に向けた共創事業について



横須賀市経済部

海洋都市 横須賀

横須賀市は、三方を海に囲まれ、豊富な海産物に恵まれていることから、漁業が盛んなことはもちろん、釣りやウインドサーフィン、シーカヤックといったマリンレジャーも楽しまれています。

また、市内には横須賀リサーチパーク（Y R P）に集積する研究機関や世界に誇る技術を有する研究機関があり、国の機関、民間企業との連携を強化し、**海洋関連産業の集積・創出に向けて取り組んでいます。**

横須賀市は、目指すまちづくりの1つに「**海洋都市**」を掲げ、この可能性を秘めた「海」を最大限に活用していきます。



産学官連携による水産業へのドローン活用

横須賀市

慶應義塾大学
SFC研究所

- 水産業への水中ドローンの活用
- 磯焼けが進む漁場の海洋環境調査
- 担い手となる海洋人材の育成

神奈川県立
海洋科学高校

長井町漁業
協同組合



取組みを通じて目指すもの

水中ドローンのさらなる幅広い活用を検討していく
ことで、**サステナブルな社会の実現に貢献する**



海洋科学高校での実習授業の様子

海洋都市推進に向けた共創事業

これまで行ってきた水中ドローンの取り組みをさらに拡大し、水産業のみならず多方面において産業目線で持続可能なものとすべく、慶應義塾大学SFC研究所からスピンオフし、YRPで起業したベンチャー企業と連携し、「海洋都市推進に向けた共創事業」に取り組みます。

事業を通して、海洋都市の推進だけに止まらず、市内産業全体の活性化や、関連した新産業の創出にもつなげていきたいと考えています。

また、本事業の実施にあたっては、引き続き、慶應義塾大学SFC研究所に全面的にサポートいただきます。



海洋都市推進に向けた共創事業の概要 ①

1.横須賀発 国産水中無人機の研究開発

- 海洋分野全般における技術・知見を持つ、**市内の企業・研究機関などを集めた「ヨコスカ・ブルーテックコンソーシアム」**を形成
- 市内企業などを対象とした**技術公募**を行い、コンソーシアムとの**オープンイノベーション**による**横須賀発の国産水中無人機の研究開発を実施**

2.ドローンを活用した水産業の高度化支援

- 水中ドローンを活用した海洋調査
- 漁協と連携した磯焼け対策（**ブルーカーボンの促進**）
- 水中・空中ドローンを活用した**水産業の高収益化**
- 水産事業者への水中・空中ドローンに対するニーズ調査及び、利活用促進、導入支援

海洋都市推進に向けた共創事業の概要 ②

3. 海洋分野の人材育成

- 横須賀市内にある“神奈川県立海洋科学高校”におけるブルーテックに関連した授業支援
- 海洋科学高校で実施した授業のフィードバックを元に、**汎用的な教育プログラムを作成**
- コンソーシアム会員企業等による、子供たちへの海のしごと紹介

4. 市内事業者へのドローン利活用促進

- シンポジウムを開催し**海洋技術の最先端情報を発信**
- 市内事業者向けの**水中ドローンデモ体験会**の実施
- 上記を通じた事業者間の**交流、マッチング支援**

事業を実施するねらい

オープンイノベーションによる 地域課題の解決

- ・ 磯焼け対策（海洋環境の保全）
- ・ ブルーカーボン関連先端技術の確立 = 脱炭素化の加速
- ・ 磯焼け、温暖化などで減少した漁業の高収益化

海洋都市 推進に向けた 共創事業

海洋関連産業の活性化・高度化

- ・ 先端技術を活用することによる既存事業者の生産性向上、事業機会拡大
- ・ 海洋人材の輩出、海に関心を持つこどもの増加

海洋関連企業の集積 / 人・資金の好循環の創出

- ・ ブルーテック関連の新たな企業の参画（市内への新規立地の拡大）
- ・ 関連するスタートアップの創出
- ・ 地域課題解決型オープンイノベーションへの支援拡大
- ・ ブルーカーボンの取組みへの支援拡大
- ・ 海洋都市 × 新産業のイメージ発信

企業版ふるさと納税を活用した寄附

本事業に共感いただいた[三井住友信託銀行株式会社](#)より、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）によるご寄附をいただきました。

今回ご寄付いただいた金額 **30,000千円**